

平成24年度「宝島図書館」全体計画 - 生涯読書につながる活動をめざして -

練馬区立関町北小学校

目的

学校や家庭において、読書を楽しみ、読書に親しむ機会や活動を意図的・計画的に設定して、登場人物や作者に出会ったり、科学的な内容にふれたりすることによって、豊かな感性や思考力・想像力・表現力等の能力を育み、読書を通し、豊かな人間性の育成、確かな言語力の育成、生涯にわたって読書に親しもうとする態度の育成を図る。〔校長の学校経営計画・特色ある教育活動にも位置付けている〕

目標達成のための具体的方策

上記の目的を達成するため、本校の学校図書館は「宝島図書館」と名付ける。法律が変更された以上、図書室ではなく、学校図書館である。

1 学校図書館部の活動

学校図書館とは、「読書の楽しさや喜びにふれられるところ」、「知識を広げ、深められるところ」、「心が潤い、寛げるところ」、「本に出会い、本の世界に浸ることのできる場所」と考え、以下の事項を実践する。

- (1) 読書活動年間指導計画〔学年別〕の修正 *平成24年度夏までに見直し
- (2) 学校図書館の管理全般
- (3) 児童用図書購入計画の作成 *子どもの成長の糧となる、良質な資料や図書の収集・拡充
- (4) 読書月間の推進
 - ・前期：6月、後期：12月～1月〔冬休みも〕に実施。朝自習は、期間中「読書活動」に一本化。
 - ・自分の読みたい本をいつも手元に置く等の具体的な指導。〔自宅から又は図書館から〕
 - ・「本はともだち」への記録と学校図書館前の「おすすめの本」のコーナーへの掲示。全児童が年に1回は掲示されるように配慮する。
- (5) 「本はともだち」の作成 *6年間での読書の全記録が残るカードとして、全児童を対象に実施する。〔24年度から実施〕
- (6) おすすめの本100冊の選定〔低・中・高学年向け〕、「親子読書のすすめ」〔保護者向け〕等、家庭での読書を推奨する通知の発行
- (7) 読書感想文集〔練馬の子ら〕への対応・読書感想文の指導法の提供等
- (8) 図書ボランティアの活動への支援・協力
- (9) 練馬区立図書館の団体貸出・テーマ貸し等の活用
- (10) その他、児童のためになると思われる読書活動の推進
 - 朗読の専門家・絵本作家・絵本画家等の招聘
 - ブックメニュー〔お話に出てくる料理を学校給食で紹介 今後の検討課題〕
 - 業者の移動図書館等による図書販売の機会の提供〔今後の検討課題〕
 - 絵本の展示会〔今後の検討課題〕

2 各学級での日常的活動や指導

- ・「本はともだち」への記録〔項目としては、書名、作者名、出版社名、読み始めと読み終わりの期日、粗筋、読後の感想又はおすすめの言葉、心に残った場面の絵 等〕
- ・児童用図書巻末のカードは、貸借事務に活用する。
- ・担任による読み聞かせの実施〔「読み聞かせ同好会」の保護者の皆様や校長だけでなく、可能なかぎり全学級で実施する〕
- ・異学年間の読み聞かせの実施検討 * 6年生が1年生へ 1年生が6年生へ 等

3 児童会活動の図書委員会の実践

- ・児童用図書の貸借事務
- ・児童用図書の整理と学校図書館の整備
- ・図書委員会による児童集会での発表会 * 平成23年度は「素話」を披露
- ・図書委員会の児童による読み聞かせの実施 * 休み時間を利用して、図書館や生活科ルームにて
- ・本のしおり作り * 何かに活用されることを考慮して

4 保護者による「図書ボランティア」の活動

- ・日常的なカウンターワーク〔貸借業務〕、フロアワーク〔図書整理〕への支援 * 給食時間中など
- ・「図書館だより」等の通知の作成 * 家庭における読書習慣の形成のため
- ・児童用図書のメンディング * 必要物品は学校で用意
- ・掲示物の作成や壁面への掲示 * 季節感があふれる掲示物・「宝島」が感じられる掲示物・テーマ別展示〔人権・料理・・・〕等
- ・新刊本の紹介

平成23年度に実施していただいた蔵書点検の結果、蔵書リストが整ったので、平成24年度以降、蔵書点検は行わず、必要に応じて、3～5年に一度、全保護者に協力を呼びかけ、主に夏季休業中に実施していく。

5 その他

- (1) 本校の教員研修の実施 * アニマシオン、ブックトーク、パネルシアター等
- (2) 学級文庫の蔵書の拡充 * 図書ボランティアと連携し、よい本を少しでも多く
- (3) 国語科をベースとした学校図書館の有効利用 * 都言語能力向上推進校として
- (4) 毎月行われている「保護者による読み聞かせ」は、「読み聞かせ同好会」の皆様が中心となって実施していく。

以 上